

株式のお手続きに関するお知らせ

単元未満株式の買増・買取制度について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（1～99株）については市場で売買はできませんが、当社に対して100株（1単元）となるよう買増請求（購入）することができます。または単元未満株式を当社に対して買取請求（売却）することができます。



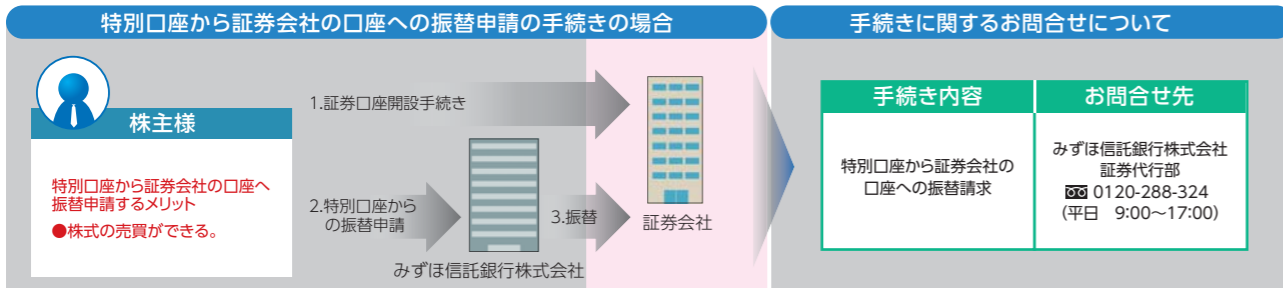
- ・証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。
- ・それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-288-324 (平日9:00～17:00)

特別口座から証券会社等の口座への振替について

特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません（単元未満株式を除く）ので、証券会社へ取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替える手続き（振替申請）をお勧めします。

※現在株券をお持ちの株主様や、以前株券を持っていたが現在所在が分からなくなった株主様は、特別口座で管理されている可能性がありますので、当社特別口座管理機関みずほ信託銀行株式会社にお問合せください。



株主の皆様へ

第10期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

JFE Group



JFE

JFEグループは、常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。

平成23年度決算の概要や
今後のJFEグループの事業戦略やビジョンについて、
馬田代表取締役社長がお答えします。



代表取締役社長 (CEO) 馬田 一

Q 厳しい経済環境が続いていますが、平成23年度の業績の概要を教えてください。

A ▶鉄鋼事業は原料価格の大幅な上昇もあり、減益
▶グループ全体で経常利益を確保したものの、特別損失の計上もあり、当期純損失に
▶当期末の配当は1株当たり10円(年間では20円)

平成23年度の経済環境は、海外経済の減速や円高の影響により厳しい状況が続きました。このような状況のもと、収益改善への取り組みを一層強化するとともに、海外需要の取り込みや、震災復興への対応

等に注力しました。

鉄鋼事業では、販売価格が上昇したものの、販売数量が減少し、売上高はほぼ前期並みとなりましたが、原料価格の大幅な上昇もあり、経常利益は257億円と、前期に比べ減益となりました。

エンジニアリング事業では、環境・エネルギー分野を中心に受注拡大に注力し、前期に比べ増収・増益となり、経常利益は143億円となりました。

造船事業でも、前期に比べ増収となり、受注工事損失引当金の影響により減益となったものの、経常利益は122億円となりました。

LSI事業では、減収となったものの、経常利益は前期並みの15億円となりました。

以上の結果、グループ全体で売上高は前期並みの3兆1,665億円でしたが、経常利益は529億円と、前期に比べ減益となりました。

特別損益は1,248億円の損失でしたが、主に成長戦略としての海外投資案件で投資有価証券評価損を計上したこと等によるものであり、これらにより当期純損失が366億円となりました。

当期末の配当は、経常利益の水準を踏まえ、1株当たり10円(年間では中間配当10円と合わせて20円)とさせていただきます。

Q 事業会社の体制が大きく変わりますね。

- A**
- ①JFE商事(株)の完全子会社化
 - ②ユニバーサル造船(株)と(株)アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッドとの経営統合
 - ③川崎マイクロエレクトロニクス(株)の全株式を(株)メガチップスに譲渡

現在JFEスチール(株)の持分法適用会社であるJFE商事(株)について、当社の自己株式を活用した株式交換により、本年10月1日に完全子会社とする予定です。

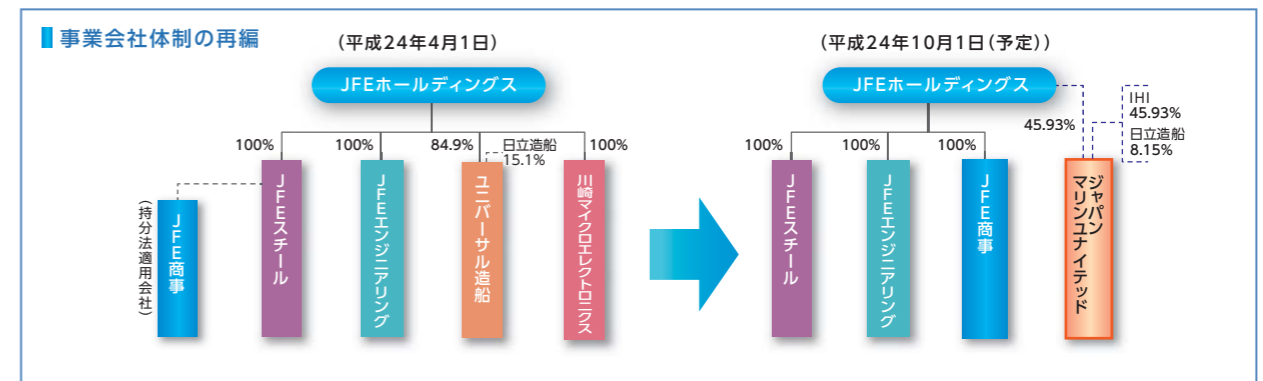
また、ユニバーサル造船(株)については、(株)アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッドとの経営統合に関し、両社の株主である当社、(株)IHI、日立造船(株)を加えた5社が基本的事項に合意しました。両社は本年10月1日に合併する予定であり、今後、ジャパン マリンユナイテッド(株)とし

て、総合力業界トップの地位確立と更なる成長戦略の実現を目指します。

川崎マイクロエレクトロニクス(株)については、将来にわたって技術的な競争力を強化し、事業の成長を図っていくため、当社が発行するすべての株式を(株)メガチップスに譲渡する予定です。

Q 創立10周年となる今年、新たに策定した第4次中期経営計画の概要について教えてください。

- A**
- ①国内収益基盤の再構築
 - ②技術優位性による企業価値拡大
 - ③積極的な投資の継続
 - ④グローバル市場でのプレゼンスの拡大
 - ⑤持続的な成長のための企業体質の確立
- これらの取り組みにより、最終年度である平成26年度に連結売上高4兆円、ROS10%を目指す



まず、国内製造拠点の競争力強化のために徹底的なコスト削減を実行し、収益基盤を再構築します。

次に、技術の優位性による企業価値の拡大を目指して、10年先を見据えた革新的な技術開発に取り組むとともに、お客様のニーズを早期かつ的確につかみ、画期的な新商品をスピーディーに開発していきます。大幅なコスト削減につながるプロセス技術の開発やJFEブランドを支える共通基盤技術の開発にも注力します。

【投資総額(平成24年～平成26年度累計)】1兆円
【海外投資比率(第4次中期計画)】50%程度(前中期実績は25%)

また、海外拠点を拡大し、JFE商事(株)のネットワークとの相乗効果を最大限に発揮することにより、成長するグローバルマーケットに深く入り込みます。海外現地生産の強化、アライアンスやM&A等により、グローバルマーケットでのプレゼンスを拡大し、そのために積極的な投資を行ないます。

さらに、持続的な成長のための企業体質確立に向け、CSRの推進、コーポレート・ガバナンスや環境経営の徹底、グローバル人材の確保・育成等によるダイバーシティの推進、財務体質の強化に取り組めます。

株主の皆様への還元は最重要課題のひとつと位置づけ、配当性向25%を継続していきます。

Q 各事業の基本方針についても教えてください。

- A
- ①鉄鋼事業は「世界有数のグローバル鉄鋼サプライヤー」に
 - ②エンジニアリング事業は、環境・エネルギー分野でのリーディングカンパニーに
 - ③造船事業は、統合シナジー効果の早期発現を

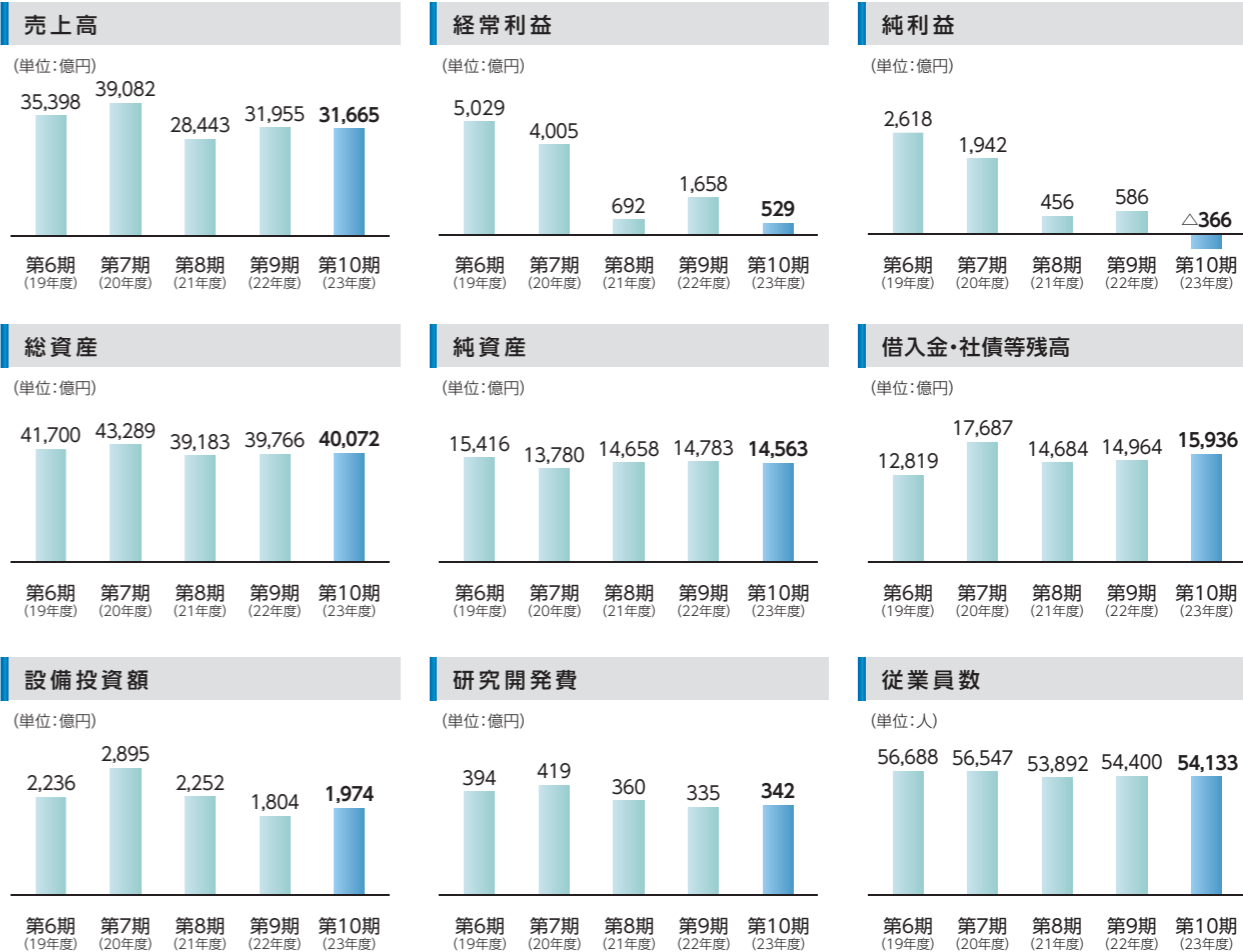
鉄鋼事業は、「世界有数のグローバル鉄鋼サプライヤーとして広く認知され、世の中に誇れる会社」を目指します。お客様に選ばれる商品拡販に向けた販売戦略・商品戦略、世界をリードする技術の高度化とコスト競争力強化、海外事業戦略の積極的な推進、競争力ある原料購買戦略の実行に取り組んでいきます。

エンジニアリング事業は、環境・エネルギー分野を中心に堅固な経営基盤を確立し、この分野でのリーディングカンパニーを目指します。特に、海外事業の拡大、新商品の創出と早期市場投入に注力します。

造船事業は、(株)アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッドとの統合シナジー効果の早期発現を目指し、次世代環境対応船の開発に注力します。

JFEグループは、引き続き企業としての持続的成長を図り、すべてのステークホルダーの皆様にとっての企業価値最大化に努めます。

株主の皆様には、今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



財務指標			
ROS ^{*1}	ROA ^{*2}	自己資本比率	D/Eレシオ(格付けベース) ^{*3}
1.7%	1.7%	35.3%	83.5%

*1 ROS=経常利益/売上高 *2 ROA=(経常利益+支払利息)/総資産 *3 D/Eレシオ=借入金・社債等残高/自己資本、格付けベース:格付評価上資本性を併せ持つハイブリッド債(平成20年3月発行第1回取得条項付無担保転換社債型新株予約権付社債(劣後特約付)発行価額3,000億円)について、格付機関による評価により、75%を資本とみなした場合

会社概要 (平成24年3月31日現在)

名称 JFE(ジェイエフイー)ホールディングス株式会社
(商号) [英文名称: JFE Holdings, Inc.]

本店 〒100-0011
所在地 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
電話 03(3597)4321(代表)

設立 平成14年9月27日

資本金 1,471億円

従業員数 連結:54,133名 単独:48名

株式の現況 (平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数 2,298,000,000株
発行済株式総数 614,438,399株
株主数 309,395名

株式事務のご案内

決算期 3月31日
定時株主総会 6月に開催
定時株主総会および
剰余金の配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
1単元の株式の数 100株
株主名簿管理人および
特別口座管理機関 〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

経営体制 (平成24年6月27日現在)

取締役
代表取締役社長 馬田 一
代表取締役 林田 英治
代表取締役 岡田 伸一
取締役 岸本 純幸
取締役(社外) 芦田 昭充
取締役(社外) 前田 正史

監査役
監査役(常勤) 山崎 敏邦
監査役(常勤) 笹本 前雄
監査役(社外) 伊丹 敬之
監査役(社外) 杉山 清次

執行役員
社長 馬田 一 CEO(最高経営責任者)
副社長 岡田 伸一 総務部、経理部の統括
企画部、財務・IR部の担当
常務 山村 康 経理部の担当
常務 寺畑 雅史 総務部の担当

お問い合わせ先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324
特別口座に関する
事務取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店
公告の方法 電子公告
【アドレス】 <http://www.jfe-holdings.co.jp/>

鉄鋼事業

粗鋼生産量 2,924万t
売上高 2兆7,144億円
経常利益 257億円



JFEスチール株式会社

代表者 代表取締役社長 林田 英治
従業員数 42,571名*連結
事業内容 各種鉄鋼製品、鋼材加工製品、原材料等の製造・販売、ならびに運輸業および設備保全・工事等の周辺事業
生産拠点 東日本製鉄所(千葉地区・京浜地区)
西日本製鉄所(倉敷地区・福山地区)
知多製造所

エンジニアリング事業

売上高 2,787億円
経常利益 143億円



JFEエンジニアリング株式会社

代表者 代表取締役社長 岸本 純幸
従業員数 7,443名*連結
事業内容 エネルギー、都市環境、リサイクル、鋼構造、産業機械等に関するエンジニアリング事業
生産拠点 鶴見製作所/津製作所/清水製作所

造船事業

売上高 2,146億円
経常利益 122億円



ユニバーサル造船株式会社

代表者 代表取締役社長 三島 慎次郎
従業員数 3,647名*連結
事業内容 一般商船および艦船等の設計・製造・販売・修繕
生産拠点 京浜事業所/津事業所/舞鶴事業所/因島事業所/有明事業所

LSI事業

売上高 214億円
経常利益 15億円



川崎マイクロエレクトロニクス株式会社

代表者 代表取締役社長 山内 由紀夫
従業員数 424名*連結
事業内容 各種LSI製品の製造・販売等

JFEスチール



「フェロコックス」製造のためのパイロットプラントが稼働

JFEスチール(株)は、革新的な高炉原料である「フェロコックス」の製造プロセス技術開発の一環として、東日本製鉄所(京浜地区)にて建設していたパイロットプラントを完成させ、稼働を開始しました。

本パイロットプラントは、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)(平成23年度からは経済産業省)による「資源対応力強化のための革新的製鉄プロセス技術開発」プロジェクトとして建設してきたものです。高炉使用時のCO₂排出量の大幅削減、省エネルギー、劣質石灰・鉍石使用による資源対応力強化を目的とした「フェロコックス」製造プロセス技術の確立と実用化を目指します。

JFEスチール(株)は、資源循環社会の構築により、地球環境に一層寄与していくために、更なる技術開発を進めてまいります。



西日本製鉄所(福山地区)UOE鋼管製造設備を増設

JFEスチール(株)は、西日本製鉄所(福山地区)の溶接管(UOE)工場において高強度厚肉鋼管製造設備を増設しました。また、UOE鋼管の原板を製造する厚板工場において、冷却設備を改良し、より厳格な仕様の厚板製造を可能としました。

天然ガスや石油の開発地域・開発環境の多様化や高圧操業化が進む中、材料には鋼管の高強度化や高変形性能を有する厚肉化の要求が高まっています。今回の設備投資の結果、様々な使用条件に対応した高級UOE鋼管を幅広いサイズで供給できるようになりました。

今後も、お客様のニーズにお応えできる最先端の技術革新、商品開発に注力し、高機能・高品質な鋼材商品の提供を通じて、世界の資源・エネルギー開発に貢献してまいります。



ベトナムでの製鉄所建設に関する事業性検証の実施を決定

JFEスチール(株)は、台湾の大手鉄鋼メーカー E-Unitedグループがベトナムにて実施している高炉一貫製鉄所プロジェクトに、メジャーシェアで参画する前提で、同プロジェクトの事業性検証(FS)を実施します。

JFEスチール(株)は、新興国における幅広い需要増加に応えるため、かねてより東南アジア、インド等で、製鉄所建設の可能性を検討してきました。ベトナムは、鋼材需要も安定的に拡大しており、ベトナム国内向けの内需や東南アジア向け等の外需に対応した鋼材供給拠点として期待できます。ベトナム中部のクワンガイ省ズンクワット工業団地内に建設予定地が確保されていることもあり、他の候補地に先行してFSを実施します。

第1期として、粗鋼能力350万トン程度の薄板を中心とした製鉄所を建設し、平成28年の稼働を想定してFSを実施します。販売品種、設備等の詳細は今後検討してまいります。

JFEエンジニアリング



全国で都市環境プラントを連続受注

JFEエンジニアリング(株)は、福岡、豊中伊丹(大阪府)、高岡(富山県)、熊本で大型都市環境プラントを連続受注しました。

これらの施設は都市廃棄物をエネルギーに変換する社会的に重要なプラントです。国内トップクラスの発電効率と大幅なCO₂削減を実現した自社開発の高性能プラント「ハイパーZシリーズ」の優れた経済性と最高水準の技術が高く評価され、受注に結びつきました。

この結果、平成23年度に発注された全国の都市環境プラントの総処理量(t/日)の約50%を受注し、過去最高の市場シェアとなりました。今後も卓越した技術力で、国内および海外において環境保全に貢献する都市環境プラントを積極的に提案してまいります。



中部電力浜岡原子力発電所津波対策防波壁の出荷開始

JFEエンジニアリング(株)津製作所(三重県)および清水製作所(静岡県)では、浜岡原子力発電所の津波対策として建設が進む防波壁の上部工鋼殻を製作しています。

防波壁は、平成24年末までに、発電所前面の砂丘堤防に全長1.6kmにわたって設置される計画です。両製作所で製作した全量109基(1基当たり鋼重約200t)の上部工を、順次、現地工事を施工する元請の共同企業体に引渡していきます。初めてのメタル構造の防波壁で従来工法に比べ工期を半減できるというメリットがあり、高い注目を集めています。

JFEエンジニアリング(株)では、国民のエネルギー供給と安全安心な暮らしを支えるべく、長大橋や海洋構造物建設で培った技術を用いて施工を進めてまいります。

ユニバーサル造船



中型掃海艇「えのしま」を引き渡し

ユニバーサル造船(株)京浜事業所では、平成24年3月21日、防衛省向け平成20年度中型掃海艇「えのしま」を引き渡しました。

「えのしま」は、海上自衛隊として初めて船体を木造からFRP(ガラス繊維強化プラスチック)製にした掃海艇です。

本船の特徴はFRP製掃海艇としては世界最大級の大きさであること、ブロック建造法が採用されていること、木造に比べ耐用年数が長いこと等が挙げられます。

大型FRP船の開発は、昭和50年代から着手し、長年にわたり技術を積み上げてきました。このたび引渡式を迎えることができ、防衛省からも改めてユニバーサル造船(株)の技術力を評価いただきました。

平成24年度 工場見学会のご案内(募集要項)

株主の皆様へ当社へのご理解を一層深めていただけるよう、引き続き工場見学会ならびに会社概況説明会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。



本年度に開催予定のすべての日程(開催期間:平成24年10月~平成25年3月)につき、今回まとめて募集いたします。
11月末発送予定の「株主の皆様へ」での募集予定はございませんので、
本年度の見学会へ参加をご希望の方は、必ず今回お申込みくださいますようお願い申し上げます。

対象者

平成24年3月31日現在、当社株式100株以上をご所有の株主様(同伴者1名まで可)
※お子様の同伴は小学生以上とさせていただきます。

締切日

平成24年7月19日(木)
(当日消印有効)

募集人数

JFEスチール(株)
東日本製鉄所(千葉地区):各回**135名様**
(京浜地区):各回**135名様**
西日本製鉄所(倉敷地区):各回**90名様**
(福山地区):各回**90名様**

応募方法

同封のはがきをご返送いただくか、当社ホームページ(アドレス<http://www.jfe-holdings.co.jp/>)からご応募ください。

参加費

無料
(但し、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。)

JFEエンジニアリング(株)
リサイクル工場(京浜地区):各回**60名様**

JFEエンジニアリング(株)・ユニバーサル造船(株)
(津地区):各回**60名様**
※人数には同伴者を含みます。

お問合せ先(工場見学会専用)

JFEホールディングス(株)株主名簿管理人
みずほ信託銀行(株)証券代行部

0120-300-676 [9:00~17:00
(土・日、祝祭日を除く)]

※**お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。**
抽選結果につきましては、別途ご連絡(平成24年9月上旬頃)させていただきます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。
※お申込みの際に、記載事項にもれ等の不備がございます場合、無効とさせていただきますのでご承知おきください。

工場見学会の概要

■ JFEスチール(株)東日本製鉄所

実施日時

(千葉地区)
申込番号① 平成24年12月13日(木) 9:00頃~12:00頃
申込番号② 平成24年12月13日(木) 13:30頃~16:30頃
申込番号③ 平成25年1月24日(木) 9:00頃~12:00頃
申込番号④ 平成25年1月24日(木) 13:30頃~16:30頃
申込番号⑤ 平成25年1月25日(金) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑥ 平成25年1月25日(金) 13:30頃~16:30頃

(京浜地区)
申込番号⑦ 平成24年10月17日(水) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑧ 平成24年10月17日(水) 13:30頃~16:30頃
申込番号⑨ 平成24年11月19日(月) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑩ 平成24年11月19日(月) 13:30頃~16:30頃
申込番号⑪ 平成24年12月4日(火) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑫ 平成24年12月4日(火) 13:30頃~16:30頃

集合場所・解散場所
(千葉地区) JR千葉駅周辺
(京浜地区) JR川崎駅周辺

■ JFEエンジニアリング(株)リサイクル工場

実施日時

(京浜地区)
申込番号⑬ 平成24年11月21日(水) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑭ 平成24年11月21日(水) 13:30頃~16:30頃
申込番号⑮ 平成25年2月20日(水) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑯ 平成25年2月20日(水) 13:30頃~16:30頃

集合場所・解散場所
JR川崎駅周辺

■ JFEスチール(株)西日本製鉄所

実施日時

(倉敷地区)
申込番号⑰ 平成24年10月10日(水) 9:00頃~12:30頃
申込番号⑱ 平成24年10月10日(水) 13:30頃~17:00頃
申込番号⑲ 平成25年2月5日(火) 9:00頃~12:30頃
申込番号⑳ 平成25年2月5日(火) 13:30頃~17:00頃

(福山地区)
申込番号㉑ 平成24年10月11日(木) 9:00頃~12:00頃
申込番号㉒ 平成24年10月11日(木) 13:30頃~16:30頃
申込番号㉓ 平成25年2月6日(水) 9:00頃~12:00頃
申込番号㉔ 平成25年2月6日(水) 13:30頃~16:30頃

集合場所・解散場所
(倉敷地区) JR新倉敷駅北口 または
西日本製鉄所倉敷地区(駐車場あり)
(福山地区) JR福山駅北口 または
西日本製鉄所福山地区(駐車場あり)

■ JFEエンジニアリング(株)・ユニバーサル造船(株)

実施日時

(津地区)
申込番号㉕ 平成24年11月13日(火) 10:30頃~15:00頃
申込番号㉖ 平成24年11月13日(火) 12:00頃~16:30頃
申込番号㉗ 平成24年11月14日(水) 10:30頃~15:00頃
申込番号㉘ 平成24年11月14日(水) 12:00頃~16:30頃
申込番号㉙ 平成25年3月5日(火) 10:30頃~15:00頃
申込番号㉚ 平成25年3月5日(火) 12:00頃~16:30頃
申込番号㉛ 平成25年3月6日(水) 10:30頃~15:00頃
申込番号㉜ 平成25年3月6日(水) 12:00頃~16:30頃

集合場所・解散場所
近鉄久居駅東口

見学にお越しいただくことが確定した株主様へは、別途詳細をご案内申し上げます。
天候等の事由により、見学会の延期・中止、またはご見学内容の変更等が生じる場合がございますので、あらかじめご了承賜りますようお願い申し上げます。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会実施のほか議決権行使に関するご案内や、株主様向けの活動充実のために使用させていただきます場合がございます。